

絵で読み解く

ほとけさまの世界①

仏說阿彌陀經  
ぶつせつあみだきょう



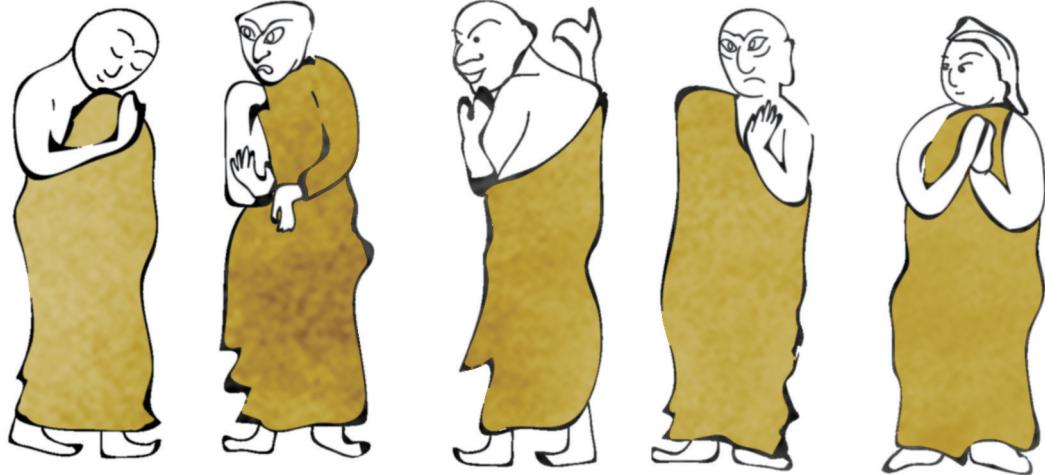
私達はお釈迦様から確かにこのように聞きました。

ある時、舍衛国の中のキッコトクと言う人が、仏法興隆のためにと寄進された祇園精舎にお釈迦さまが居られました。

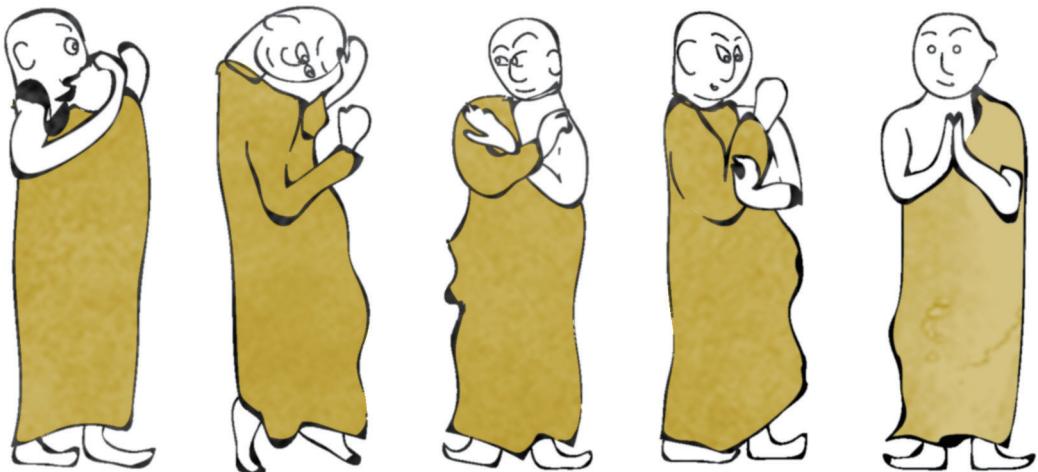
仏法を聞き開いて行こうとしている千二百五十人の人と一緒にいました。これらの人たちは仏法を聞いて、仏法の示す生き方を実践し、そういう生き方が大切だと周りの人たちに伝えている人達でした。



弟子の中でも知恵一番  
と言われるシャリホツ、  
そして、モクレン、カショ  
ウ、センネン、クチラ、  
リハダ、シユリハンド、  
ナンダ、アナンダ、ラゴ  
ラ、キヨウボンハダイ、  
ビンズルハラダ、カルダ  
イ、コウヒンナ、ハクラ、  
アヌルダというお釈迦の  
さまの大弟子と、これか  
ら仏法を聞いていこうと  
心に決めた人々や、モ



ジュシリ法王子、アイツ  
タ、ケンダカダイ、ジョ  
ウショウジンといった人  
達、そしてアウトカース  
トと呼ばれる無数の民衆  
と一緒に居られたので  
す。



ここから西の方角に、  
十万億という国々を越え  
ていったところに一つの  
世界がある。その世界は  
極楽と名付けられている。





その国には阿弥陀、つまり、永遠の尊い命と  
自ら名乗られる仏さまが居られ、今も現実に確  
かに居られて正しい教えを説いておられる。

〈本文の掲載は「」もどりなります。〉

絵で読み解くほとけさまの世界①

# 仏説阿弥陀経

平成二十九年十一月一日発行

真宗大谷派 緑雲寺

イラスト 佐々木裕